

令和5年（2023年）6月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（3日目）

令和5年6月22日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	翁長俊英 (公明党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	上下水道行政について	(1) 化学肥料の原産主要国は中国、日本は肥料のほぼ全てを輸入に依存している。中国は今、輸出を厳格化して制限している。加えてウクライナ侵攻によって肥料が高騰して農家にとっては大きな影響を受けている 安定的に供給体制、輸入依存からの脱却が課題になっている 政府は食糧の安定確保に向けて国内資源の活用を推進するために、昨年末、公明党の要請も受けて食料安全保障強化政策大綱に、下水汚泥の肥料利用拡大への支援などを盛り込んだ 2030年までには化学肥料の使用を減らして堆肥や下水汚泥といった国内資源の使用量を倍増させる目標を掲げて、取組を進める方針を決めた そこで那覇浄化センターにおける下水道処理水の過程で排出される汚泥の活用について伺う (2) 神戸市や佐賀市が先進的に取り組み注目を浴びているようである。下水の処理過程で発生する汚泥を脱水して特殊な微生物を混ぜて、45日間90度以上で発酵、中間処理して、その後ワラや竹くずを入れて良質な肥料に仕上げているようである 那覇浄化センターのコンポスト化における安全面について伺う (3) 再生処理水の活用と現状について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（3日目） 令和5年6月22日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (自 民 党)	1 沖縄戦関連 について	(1) 戦後78年となり、戦争体験者の殆んどが 80歳以上の高齢者となっている 体験者亡きあとの沖縄戦の語り部につ いてどのように考えているのか伺う (2) 沖縄戦で軍に動員された学校は22校、結 成された学徒隊は21ある（ひめゆり学徒隊 は沖縄師範学校女子部、沖縄県立第一高等女 学校の2校で構成） 学校の所在地22校の内、13校は現在の那 覇市にあった 本市として、学徒隊についての関わりや 発信はどうなっているのか伺う
		2 L G B T理 解増進法につ いて	令和5年6月16日、L G B T理解増進法が国 会で成立したが、女子トイレの利用について、女 性から不安の声があがっている 本市のトイレ施策はどうなっていくのか伺う
		3 コオロギ食 について	どこからともなくいきなり降って沸いたコオ ロギ食の推進について、安全性に不安の声がある 本市として学校給食などにコオロギ食を用い る考えがあるのか伺う
		4 新型コロナ ワクチン行政 について	(1) 新型コロナワクチンについての多くのマ イナス情報が世界中で論文などを通じて発 信されている 本市として、しっかり情報を追っかけてい るか、また、インフォームド・コンセント はちゃんと医療現場においてアップデートさ れているのか伺う (2) 大阪府泉大津市の施策を参考にし、見習っ て欲しいと切望する。見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和５年６月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	多和田 栄子 (ニライ)	1 平和行政について 2 夜間中学の設置について 3 外国人雇用の受入について 4 久場川公園整備の進捗状況について	(1) 「慰霊の日」の取組について 今年も６月２３日慰霊の日がやってきた。沖縄戦で軍人よりも県民の４人に一人が犠牲になったといわれる大戦から 78 年目を迎える。本市の小・中学校の平和教育の取組状況を伺う (2) 石垣市で自衛隊の地対空誘導弾パトリオット（P A C 3）の展開が地元の同意や手続きがないままに軍事利用が進められている状況である。当局の見解を伺う 県外の夜間中学二か所を視察する機会があり、学び直しの大切さを知る機会となった。本市の夜間中学の取組はどのようになっているのか、以下伺う (1) 検討委員会の結論はどのようになっているのか (2) 那覇市に設置する意義について 3 年以上続くコロナ禍において、介護事業所において人材不足は大きな社会問題となっている。事業経営の存続にも影響を及ぼしている。本市において外国人雇用の受入状況について伺う 近隣公園として都市計画決定がされた平成 18 年（2006 年）事業開始から 17 年が経過している。しかし、公園整備が進んでいないのはなぜか進捗を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 儀間真常の銅像設置について	儀間真常については2016年(平成28年)9月定例会で取り上げている。琉球の産業の三大恩人(野国総管、蔡温、儀間真常)といわれ、琉球の発展に多くの功績を残している。先人たちの活躍、歴史を身近に感じるために銅像設置を訴えてきた。あれから7年が経過、その後どのように話し合い、検討されたのか伺う
		6 こども家庭センターについて	こども家庭センター設置に向けて、準備室が設けられている。設置の概要と取り組みに至る経緯を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和５年６月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	花 城 典 史 (自 民 党)	1 教育行政について	(1) 教員の多忙化が本市の教育行政へ与える影響について伺う (2) 「教員負担軽減タスクフォース」の実施概要について伺う (3) 「教員負担軽減タスクフォース」と教育関連の各種指針・計画等との関連性について伺う (4) これまで教育行政で実施されてきた各種調査・アンケートのうち、教員業務負担軽減関連の実態調査数及び調査形式、結果のフィードバックについて伺う (5) 「教員負担軽減タスクフォース」と中央教育審議会の３分類について伺う
		2 まちづくり行政について	(1) 県道 222 号線の整備方針と、本市の各種行政計画(那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画、都市計画マスタープラン) との関連性について伺う (2) 「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画」の中間見直しについて伺う (3) 「那覇市都市計画マスタープラン」等で示された中心市街地の整備方針について伺う (4) 開南交差点周辺エリアの環境整備について、旧開南会館側における県道取得用地の活用方法について問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

一般質問（３日目） 令和５年６月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	栗 國 彰 (自 由 民 主)	1 空き家行政 について	空き家への課税を強化する改正空き家対策特別措置法が令和５年６月７日参議院本会議で可決、成立した これまで倒壊の恐れがあり、周囲に著しい悪影響を及ぼす、特定空き家が固定資産税の軽減対象外だったが、手入れが不十分な物件も対象外とした。空き家の抑制に向け、状態が悪化する前に活用や撤去を促す有効利用を進めるため、飲食店などに転換しやすくする制度を設けることになった (１) 改正法では、適切な管理がされず放置すれば特定空き家になる恐れがある物件を新たに管理不全空き家と定めた。本市には管理不全空き家が何件あるか伺う (２) 空き家活用に向けた区域や指針を制定する制度も新設となり、これまでの対象は中心市街地や観光地を想定しているが、建物の用途が住宅などに限られていても指針に明記すれば宿泊施設や飲食店への転用を認めるのか。見解を伺う (３) 台風や地震で損壊が進むなどの緊急性が高いときには、一部手続きを省けるようにする対策について伺う
		2 公園管理行政 について	公園などの樹木が、根腐れしたことにより倒木し、県外で死亡事故が起きている。公園管理について以下質問する (１) 本市の管理公園において、枯れ木等の樹木の異常をどのように把握されているか (２) 本員が調べた限り、識名公園内の枯れ木は約１３本あった。体育館内では各種大会があり、多くの人の出入りがあるが、枯れ木の切り取り処置、対策について見解を伺う (３) 大石公園内へのバスケットゴール設置について伺う

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 学校トイレ の修繕につい て	各学校からのトイレの修繕要請・相談について 伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（３日目） 令和５年６月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	湧 川 朝 渉 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 環境行政について	那覇市内の自衛隊基地内の環境汚染について河川の汚染が続いている。見解と対応を問う
		2 平和行政について	那覇市内にある自衛隊の火薬庫について自衛隊の火薬類貯蔵及び取扱施設設計基準の目的と適用基準について問う
		3 福祉行政について	避難行動要支援者の個人情報保護について那覇市の避難行動要支援者の概要を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 令和5年6月22日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	永 山 盛太郎 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 下水道行政について 2 保育行政について 3 公園行政について	首里石嶺町地区下水道浸水被害軽減貯留施設事業について以下伺う (1) 事業の進捗状況について伺う (2) 同施設上部空間の活用について伺う 保育行政について以下伺う (1) コロナ感染症が5類に移行されたが行政の対応について伺う (2) 物価高騰により原材料の高騰で施設の負担が増えている。現状と対策を伺う (3) 本年4月に「こども家庭庁」が発足したが、本市でも専門部署を設置し取組強化を図ることが必要だと考えるが本市の対応を伺う 公園行政について以下伺う (1) 爬龍橋から漫湖公園に接続されている階段の安全対策について伺う (2) 漫湖公園に高学年が楽しめるバスケットコートやスケートボード場等を設置してほしいと要望が多い、本市の対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（3日目） 令和5年6月22日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	外 間 有 里 (自 由 民 主)	1 若者行政について 2 安心・安全な観光振興について 3 中心商店街の活性化について 4 環境行政について	(1) 若者や学生における社会課題への関心が高まる中、次世代の地域リーダー担い手育成にも繋がる取組として、若者・学生議会を提案する。本市の見解を伺う (2) 若者の活躍推進を図るためにも、審議会等委員に学生や若者を起用できないか、本市の見解を伺う (1) めんそーれ那覇市観光振興条例について、現状の取組について伺う (2) 協議会の実施について、本年度開催の予定はあるか、伺う (1) 那覇市第一牧志公設市場について、沖縄県の食の魅力発信拠点及び「食」を中心とした沖縄独自の生活文化が体感できる街歩き拠点としての機能を有する施設となるよう、再整備事業を進めていた。今後の施設運用に対する本市の見解を伺う (2) 同施設の3階にある多目的室・調理室の活用について、本市の見解を伺う (3) 仮設市場の跡地利用について、進捗を伺う 再生可能エネルギーについて、小型風力発電の活用を検討できないか、本市の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（３日目） 令和５年６月２２日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	奥 間 綾 乃 (無所属クラブ)	1 障がい者福祉について 2 多子世帯・多胎児世帯に対する教育支援について 3 那覇文化芸術劇場なは一について 4 のうれんプラザ裏の貸切バス乗降場について 5 国際通りトランジットモールについて 6 道路行政まちづくりについて	身体に障がいをする人に対し人工的な手足や補助道具を製作する義肢装具士の役割及び業務について問う 多子世帯・多胎児世帯の児童生徒が使用する制服や部活動で使用するシューズやユニフォームなど家庭の経済的負担となる物品について支援策はあるか問う (1) 開館時間と閉館時間を問う (2) 夜間公演の際、イベント業者も閉館時間までに撤収しなければならないのか問う いつ、どのような目的で設置したか、また整備にかかった予算金額を問う この事業の目的並びに実績と成果、今後の課題について問う 国際通りから、てんぶす前交差点を桜坂方面に抜ける際に、横断歩道を渡る歩行者の数が多く、その道路に進入する右折車左折車で渋滞することが多々ある 先を急ぐ営業車の無理な進入も多く、接触事故や人身事故へ繋がる危険性が高いことから解決策を講じていただきたい。市の見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 令和5年6月22日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	平 良 識 子 (ニ ラ イ)	1 福祉行政について	(1) 排泄機能に障がいのあるオストメイトの方々にとって、ストーマ用具及び関連製品の使用が毎日の生活に必須であり、排泄管理支援用具に関する給付支援はなくてはならないものである。日本オストミー協会沖縄県支部より那覇市へ、約30年見直しが行われていない給付基準額の増額要請がなされている。現状と今後の対応について伺う (2) 医療的ケア児および家庭支援について、本市の現状と対応について伺う
		2 健康行政について	昨年、県が沖縄県立学校で行った健康診断の問診票で「化学物質や香りで体調不良になる」と回答した生徒が634名いることが判った。本市における子どもたちの現状把握はどうなっているか。また化学物質過敏症を発症、悪化させないためにも、市内小中学校における周知を図ることを要望する。対応を伺う
		3 給食費の無償化について	フリースクールに通う子どもたちにも支援を拡大することを求める。見解を伺う
		4 パートナーシップ・ファミリーシップ登録の対象拡大について	選択的夫婦別姓の法制度が未整備の現状において、法律婚の出来ない事情を抱え事実婚を選択せざるを得ないカップルへの支援として、パートナーシップ制度の対象を拡大する自治体が全国で広がっている。那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録においても異性の事実婚も対象となるよう拡大を求める。見解を伺う
		5 那覇市民共同墓について	当該墓地の利用者について、刻銘を望む市民の声がある。刻銘板を設置し、希望者対象の有料事業として取り組むことはできないか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長